

# かわなみ

ただかす  
《中央区》

令和5年2月17日(金)本会議にて、河南(かわなみ)は自由民主党神戸市会議員団より代表質疑、3月1日(水)予算特別委員会での質疑内容を報告します。 ※以下、質疑抜粋・要約

今号の  
報告

●JR元町のバリアフリー化について

●Living Nature Kobeの展開 ●ジャズの街KOBEの推進

●学校給食の食材調達 ●商店街等への電子商品券発行の働きかけ



令和5年2月17日(金)本会議にて

## かわなみ質疑

### JR 元町のバリアフリー化について

2024年に神戸で開催される、世界パラ陸上競技選手権大会を契機に、JR元町駅にバリアフリー化が進み、高齢者や障がい者、子育て世代が出かけやすいまちづくりを、より一層推進していくことを期待しています。

### JR への働きかけ強化について

従前より要望しているJR元町駅、JR垂水駅のバリアフリー化については、依然として整備が進んでおりません。鉄道事業者が実施主体ではありますが、少しでも早い整備の実現に向け、国・県・市の財政支援をより一層拡充しながら、本市としてもこれまで以上にJRに強く働きかける必要があると考えますが、見解をお伺いいたします。

### 市 小原副市長からの回答

- 神戸市においては、高齢者、障害者の社会参加促進のため、国や県に先駆けて1992年度から補助金制度を設けて支援を実施してきたところです。今年度末には長年の悲願としていた、市内で1日平均乗降客数3,000人以上の駅については、全てバリアフリー化を完了する予定となっています。
- JR元町駅については、西口のエレベーターにより、1経路は確保されているものの、乗降客数が多い東口にエレベーターがないことから、これまでも神戸市からJR西日本へ重点的に、2件目の整備に関する要望を行ってきたところです。
- JR西日本からは、詳細は未定ですが、東口のエレベーター設置については、鉄道駅バリアフリー料金制度(※)を活用して、2027年度末までには実施する予定とお聞きしています。
- 地域住民からの要望の多い駅を重点要望駅と位置づけ、鉄道事業者に対し、引き続き粘り強く働きかけを行ってまいります。

### 鉄道駅バリアフリー料金制度(※)

2021年(令和3年)12月に創設された国の制度。都市部を対象に、利用者の薄く広い負担を得て、鉄道駅のバリアフリー化を進めることを目的として設けられました。

わかりやすい言い換えると、鉄道会社は、得た利益をバリアフリー化に限定して使うなら、運賃に上乗せ(想定10円以下程度)することが出来る、ということです。

この制度を使うかどうかは、各鉄道会社が決めて表明します。

かわなみ  
MEMO

### さらに!

JR元町駅のバリアフリー化については、2月17日の代表質疑に続いて、3月1日の予算特別委員会でも福祉局へ質疑しました ※以下、質疑抜粋・要約

### JR 元町駅東改札口のバリアフリー化は喫緊の課題では?

JR元町駅は、1日の乗降客数が約5万7000人と神戸市内でも7番目に多い駅であり、東側改札口がそのメインです。鉄道事業者任せでなく、神戸市として財政支援を含めバリアフリー化を推し進めるべきと考えますが、見解は?

### 市 森下福祉局長からの回答

鉄道駅バリアフリー料金制度(※)により様々な財政支援がどうなるかというところだが、国においては、この制度を導入した事業者に対しては、ホーム柵、エレベーター等のバリアフリーとともに補助の対象外、JR元町駅東口に関して県・市の財政補助の対象になっていない状況にある。ただ、福祉局としてはバリアフリーは非常に大切、バリアフリーは都市の品格だと思うので、JR元町駅については重点要望駅と位置づけ、実現するよう働きかけはしていきたい。

JR元町駅を  
最重点要望駅として

JRさんに  
強く働きかけを!  
神戸市に要望しました

### かわなみ 要望

兵庫県はJR元町駅西口からバリアフリー動線を含めた県庁舎等再整備基本計画の検討を進めてきましたが、建設費の高騰等を踏まえ、事業を一旦凍結されております。  
**このことが元町駅のバリアフリー化が前進しない1つの理由だと私は考えております。**  
昨年12月20日に開催された兵庫県・神戸市調整会議において、神戸市会の安井議長より、JR元町駅を中心とした再開発のスケジュールや考え方についての質問に対して、齋藤知事からは、元町駅のバリアフリー化を含め、早急にスピード感を上げて、場合によっては、県庁舎等再整備基本計画との議論を切り分けて進めていきたいとの御発言があったとお聞きをしております。  
**ぜひスピードアップで取り組んでいただきたいと思います。**



令和5年3月1日(水)予算特別委員会にて



令和5年2月17日(金)本会議にて

# 暮らしに心の豊かさを



## Living Nature Kobe の展開について

かわなみ質疑

Living Nature Kobeとは…

都市生活のなかで、人々が自然に意識を向け、植栽と関わり合いをもつような「自然の景」を都心に創出することで、人と都市と自然が共に生きる神戸を目指す取組み。

かわなみ  
MEMO

現在、都心・三宮において実証実験が行われていますが、今後どのようにブランディングを行い、高質な空間整備を展開されるのでしょうか？

市 油井副市長からの回答

- ロゴマークなどでデザインを統一するとともに、進捗状況をSNS、またウェブサイトを活用して、市内外、国外に積極的に発信していきたい。今後も、都心・三宮や主要駅の再整備に合わせて、自然の景を感じる高質な空間を整備し、神戸のまちの魅力を高めたい。
- 公共空間だけでなく、例えば民地にもつくっていただくような取組みもしていき、神戸の街が、自然と共に暮らし、癒やしを感じてほしいような街にしていきたい。

かわなみの



情報過多で、スピードが求められるがちな現代社会で、疲れてしまった人々の本質を取り戻すには、癒やしの庭、ヒーリングガーデンを私は期待しておりますので、すばらしいものを提案いただきたいと思います。



## ジャズの街 神戸 の推進について

かわなみ質疑

100周年の節目で行うイベントに関して  
JAZZ ミュージシャンの派遣について提案しました！

- 学校への派遣は、ピエロのような、こどもが笑ってジャズを楽しめるような取組みも出来ないか？
- 音楽を聞くとリラックスできる、活力が出てくるなど、様々な効果があり、脳を刺激して、認知症の予防になる可能性も期待されている。老人福祉施設等への派遣は？

市 油井副市長からの回答

- 中学校、高校の文化祭等にて、ライブ演奏を開催することで、学生の方にジャズの魅力をじかに感じていただけて、次世代の観客及び演奏家の開拓につなげていければと考えているところ。
- 老人福祉施設等への派遣については、神戸芸術文化会議と神戸市の共催という形で、既にプロの方を派遣して対応しているところもあるが、ジャズについても引き続き相談してまいりたい。

かわなみの



音楽でもリラックスできたり、心地よい刺激を受けたり出来る良いと思いますが、他に何か、面白い、笑顔に、楽しくなるような仕掛けがあれば、さらに素晴らしいと思います。

# 地域商業の活性化を



## 電子商品券の発行を 商店街等へ働きかけを

かわなみ質疑

2月補正予算で発表された、商店街、小売市場が自ら実施する商品券の発行等事業に対する補助については、Ko-Payのような電子商品券ではなく、紙による商品券の発行も可能と聞いています。時代の流れからも、よりキャッシュレスなどの電子化が促進されるよう、電子商品券の発行を商店街等に働きかけていくべきではないか？

市 今西副市長からの回答

- 令和4年度発行の Ko-Pay の参加店舗数は、5,500 店以上にのぼり、商店街、小売市場お買物券を上回る約 13 万人の方から購入申込みがあり、好意的な評価を頂いている一方で、事業者、利用者共、比較的高齢である小売市場などでは、参加が困難と言われた店舗もあった。
- 今回、補正で提案の商品券事業は、各商店街、小売市場が実施する商品券の発行、ポイントシール事業に係る経費を補助するもので、電子商品券が紙商品券か、あるいは商品券ではなくポイントシールなど、他の形式なのかは、商店街、小売市場単位で、それぞれの実情に応じて決めていただくことになる。
- しかし、今回の Ko-Pay の実施状況から、引き続きデジタル技術を活用して、地域経済の活性化を図っていくことが必要であると考えて、神戸市としては、できる限り電子形式による実施の方向に誘導してまいりたい。

かわなみの



コロナ禍で大きく変わったのが、やっぱり現金決済から電子決済への流れだと私は思うんですね。(電子商品系 Ko-Pay で)、高齢の方でも1円単位で使えるのはいいね！という声も聞いています。キャッシュレス化は今後の社会の流れとして必要だと思いますので、商店街や小売市場の店舗への働きかけも強く要望いたします。

# 神戸の中小企業を大切に



## 学校給食の食材調達 について

かわなみ質疑

現在、学校給食の食材調達は事業者登録制  
対応が可能な登録事業者間の入札で決定される

※登録者は神戸市内に本店、または営業所を有することが原則

かわなみ  
MEMO

※学校給食では大量の食材を安価に、かつ安定的に調達する必要があるため、確実に配送ができ、数量不足や交換等で緊急を要する場合にも、おおむね1時間以内に対応できる場合においては市外の事業者であっても例外的に登録が認められる

令和3年度取扱い金額で、市内事業者の割合が(支店等が神戸市内にある事業者を含め)約9割になると聞いていますが、今後も市内事業者が受注しやすくなるような取組みは行うべきでは？(例：価格だけでなく、市内事業者であることの加点考慮など)

市 長田教育長からの回答

- 入札そのものは、価格以外の提案を求めるプロポーザルには、なかなかなじみにくいのではないかと考えるが、例えば、特定の食材について、市内事業者による指名競争入札を行うなど、検討していきたい。
- 登録業者公募の際に、ホームページや広報紙KOB Eへの掲載に加え、業界紙にも掲載するなど、周知方法についても工夫を図るなど、今後も市内事業者の受注機会の拡大に努めてまいりたい。

かわなみの



実際の雇用が神戸で生まれるかどうか、実際の雇用で本店を持って、神戸の中で納税されている事業者と区別があって、私はいいのかなと思っております。神戸市内、市域内の景気の循環をつくるためにも、配慮いただきたいと思います。

